

6 日本経済の動向 Developments in the Japanese Economy

(1) 景気の変化 Change of the Economic Condition

	景気 Business cycle	主な出来事 Incident	実質経済 成長率 (%) Real GDP Growth	消費者 物価指数 (前年比%) Consumer Price Index (Change from previous year)	公定歩合 (年末値) (年率%) Central bank discount rate (end of year)
1971	昭和 46	1971.12. スミソニアン体制	5.5	6.3	4.75
72	47		9.0	4.9	4.25
73	48	1973.10. 第1次石油危機	8.8	11.7	9.00
74	49		▲0.1	23.2	9.00
75	50	1975.11. 第1回サミット(ランブイエ)	4.4	11.7	6.50
76	51		2.9	9.4	6.50
77	52		4.0	8.1	4.25
78	53		5.3	4.2	3.50
79	54	1979.11. 第2次石油危機	6.5	3.7	6.25
1980	55		1.1	7.7	7.25
81	56	1985.9. G5 プラザ合意	2.9	4.9	5.50
82	57		2.8	2.8	5.50
83	58		1.6	1.9	5.00
84	59		3.1	2.3	5.00
85	60	1989.9. G5 プラザ合意	5.1	2.0	5.00
86	61		3.0	0.6	3.00
87	62		3.8	0.1	2.50
88	63		6.8	0.7	2.50
89	平成元	5.3	2.3	4.25	
1990	2	1990.8. イラクのクウェート侵攻	5.2	3.1	6.00
91	3	1991.1. 湾岸戦争勃発	3.4	3.3	4.50
92	4	1993.12. ガットウルグアイ・ラウンド交渉妥結	1.0	1.6	3.25
93	5		0.2	1.3	1.75
94	6		1.1	0.7	1.75
95	7		1.9	▲0.1	0.50
96	8	1997.7. アジア通貨・金融危機発生	2.6	0.1	0.50
97	9		1.6	1.8	0.50
98	10		▲2.0	0.6	0.50
99	11		▲0.2	▲0.3	0.50
2000	12	2.3	▲0.7	0.50	
01	13	2001.9. 米国同時多発テロ事件発生	0.4	▲0.7	0.10
02	14	2003.3. イラク戦争	0.3	▲0.9	0.10
03	15		1.7	▲0.3	0.10
04	16		2.4	0.0	0.10
05	17		1.3	▲0.3	0.10
06	18	2006.7. 日銀、ゼロ金利解除	1.7	0.3	0.40
07	19	2007.8. 米国サブプライムローン危機勃発	2.2	0.0	0.75
08	20	2008.9. リーマン・ショック	▲1.0	1.4	0.30
09	21	2009.10. 欧州債務危機勃発	▲5.5	▲1.4	0.30
2010	22	2011.3. 東日本大震災	4.7	▲0.7	0.30
11	23		▲0.5	▲0.3	0.30
12	24		1.8	0.0	0.30
13	25		1.6	0.4	0.30
14	26	2014.3. ロシア、ウクライナ南部クリミアを編入	0.0	2.7	0.30

Notes : 1. 実質経済成長率は、80年までは68SNA・90暦年基準、81年以降は93SNA・95暦年基準、1995年以降は連鎖方式による

Real GDP growth was calculated by the SNA68 on the 1990 calendar-year basis until 1980; by the SNA93 on the 1995 calendar-year basis in and after 1981; and by the chain method in and after 1995.

2. 消費者物価指数は、71年以降は05年暦年基準、それ以前は00年暦年基準

Consumer Price Index is on the 2000 calendar-year basis until 1970, and on the 2005 calendar-year basis in and after 1971.

Source : 内閣府 資料(旧経済企画庁「国民経済計算年報」、旧総務庁「消費者物価指数年報」含む)、日本銀行「物価指数月報」「経済統計年報」等より作成

Compiled from data available from Cabinet Office (including the ex-Economic Planning Agency's "Annual Report on National Accounts" and the ex-Management and Coordination Agency's "Annual Report on the Consumer Price Index"), BOJ's "Price Indexes Monthly" and "Economic Statistics Annual," etc.

(2) 基調判断の変化 Assessment of the Current State of the Economy

報告月	主な 該当月	基調判断	輸出	輸入
2013年 1月	11月	景気は、弱い動きとなっているが、一部に下げ止まりの兆しもみられる。	このところ緩やかに減少している。	横ばいとなっている。
2月	12月	景気は、一部に弱さが残るものの、下げ止まっている。	//	//
3月	2013年 1月	景気は、一部に弱さが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる。	//	//
4月	2月	//	下げ止まりつつある。	//
5月	3月	景気は、緩やかに持ち直している。	持ち直しの兆しがみられる。	//
6月	4月	景気は、着実に持ち直している。	持ち直しの動きがみられる。	//
7月	5月	景気は、着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられる。	//	//
8月	6月	//	//	//
9月	7月	景気は、緩やかに回復しつつある。	このところ持ち直しの動きが緩やかになっている。	//
10月	8月	//	おおむね横ばいとなっている。	このところ持ち直しの動きがみられる。
11月	9月	//	このところ弱含んでいる。	//
12月	10月	//	//	持ち直している。
2014年 1月	11月	景気は、緩やかに回復している。	//	//
2月	12月	//	横ばいとなっている。	//
3月	2014年 1月	景気は、緩やかに回復している。また、消費税率引上げに伴う駆け込み需要が強まっている。	//	このところ増加している。
4月	2月	景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。	//	このところ増勢が鈍化している。
5月	3月	//	//	横ばいとなっている。
6月	4月	//	//	このところ弱含んでいる。
7月	5月	景気は、緩やかな回復基調が続いており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある。	//	//
8月	6月	//	//	//
9月	7月	景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	//	//
10月	8月	景気は、このところ弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	//	//
11月	9月	景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	//	おおむね横ばいとなっている。
12月	10月	//	//	//

Source: 内閣府「月例経済報告」より作成
Compiled from Cabinet Office's Monthly Economic Report